

■認知症希望宣言の名称

【上田市希望宣言の名称案】

～委員の皆さんと上田市案～

1. 「認知症でも安心なまち・うえだ宣言」
2. 「認知症とともにいきるまち・うえだ宣言」
3. 「認知症でも希望をもてるまち・うえだ宣言」
4. 「認知症でも自分らしく暮らせるまち上田宣言」
5. 「認知症の人にやさしいまち上田宣言」
6. 「認知症・うえだ・希望宣言」
7. 「認知症・うえだフレンドリーシップ宣言」
8. 「うえだ・認知症・やさしいまち宣言」
9. 「みんなで“認知症しよう宣言”のまち・うえだ」
10. 「希望のまち・うえだ・認知症フレンドリーシップ宣言」
11. 「認知しよう宣言」

補足：認知症を正しく（深く）認知しよう！です

12. 「認知 症 宣言」

補足：認知症であることを公言して活躍するかたも多いため、症状などを周囲に伝えられる。

13. 「認知症 show 宣言」

補足：show は、明らかにする、見せる、教えるなどの意味がある

14. 「認知少宣言」

補足：認知症を少なく（予防）するための宣言

15. 「認知 ____ 宣言」

補足：____の部分は、市民の自由意思にゆだね、ブランクにするころで市民の関心をひく。

【参考：他自治体の名称】

- ・「つちうら認知症バリアフリー宣言」（土浦市）
- ・「認知症の人をささえるまち大阪宣言」（大阪市）
- ・「認知症の人をみんなで支え合うまちづくり宣言」（五所川原市）
- ・「認知症の人にやさしいまち・うじ宣言」（宇治市）
- ・「認知症になっても、安心して生活できるまちづくり宣言」（北海道更別村）
- ・「認知症なんて どうってことない 西区おもいやりのまち宣言」（名古屋市西区）

【上田市の都市宣言】

- ・～誰もが、住んで良かったと実感できる快適なまちを目指して～
「ひととまちも健康で元気に生活快適都市宣言」
- ・～争いと核兵器のない平和な世界の実現を目指して～
「争いのない世界を願う非核平和都市宣言」
- ・～お互いの人権を尊重し合えるまちを目指して～
「優しい思いやりあふれる人権尊重都市宣言」
- ・～地域全体で子育てを支えるまちを目指して～
「地域みんなで子育て未来っこ輝く都市宣言」
- ・～訪れた方へのおもてなしの心を大切にするまちを目指して～
「魅力と出会いが紡ぐおもてなしの観光都市宣言」
- ・～自然や歴史に育まれ新しい文化の創造のまちを目指して～
「美しい自然と豊かな歴史に学ぶ文化創造都市宣言」
- ・「スポーツ都市宣言」

■認知症希望宣言の宣言文

○具体的な希望宣言文について、上田市では、

①正しい理解、環境づくり

②本人意思

③予防

④まちづくり

上記①～④の4つの視点からそれぞれ1つずつの宣言文を検討しています。
それぞれの宣言文について、委員の皆さまから頂いた案や上田市案を下記に記載しますので、
参考にしていただきながら、それぞれの宣言文について修正・追加をしていただき、これ以外の（案）
もありましたら、提案をお願いします。

種 類	内 容
① 正しい理解、 環境づくり	（案1）認知症理解を深め、気づき、世代や立場を超えて、地域で支え合います。
	（案2）認知症を正しく理解し、世代や立場を越えてつながり、思いに寄り添います。

【伝えたいこと】

認知症の人や家族等が差別や偏見を受けないよう、国民一人ひとりが認知症について正しく理解する機会を得る。

そして認知症について正しく理解することにより、認知症を「他人事」ではなく、誰もが当事者や関係者になり得る「自分事」として認識するべき問題だと気が付き、認知症であっても地域でともに生きる一員として、地域社会の形成をすることを目指しています。

【他市の宣言文例】

- ・認知症に関する知識の理解を深め、早期に認知症に気づき、地域のつながりで認知症の人をささえるまち（大阪市）
- ・認知症を正しく理解し、世代や立場を超えてつながり、まち全体で支えます。（宇治市）
- ・認知症は特別な病気ではなく、わたしたち自身や家族、身近な周囲にも起こりうる病気だということを心にとどめ、認知症の人に対し、常に思いやりを持って接します。（五所川原市）
- ・認知症を正しく理解し、自分の事として考え、認知症の人や家族の思いに寄り添った行動ができる人を増やします。（土浦市）

②本人意思	(案1) 自分の力を信じ、希望を持ち思いを伝え、地域の中で笑顔を忘れず歩みます。
	(案2) 認知症の人が地域で希望を持ち、今までどおりの生活が持続できるよう力を合わせます。

【伝えたいこと】

認知症の人は「何もできなくなる」「何もわからなくなる」と捉えられがちな社会の認識を改め、認知症があっても尊厳が保持され、自らの意思や希望を持ちながら自分らしく地域で生きることができ、今までどおり暮らせる社会の実現ができることを伝える。

また、認知症とともに生きる本人の声を発信する機会をつくることで、認知症になっても笑顔で住み続けられることを周知する。

【他市の宣言文例】

- ・ 認知症になっても、希望や生きがいを持って認知症とともに生きていきます。
- ・ 認知症の人が人生の最期まで安心して暮らせるまちを共につくります。(宇治市)

③予防	(案1) 目と耳を開いて、楽しいことを見つけ、人と人がつながり、美味しく食べ、元気に運動し、良く学び、しっかり睡眠をとって、常に備えます。
	(案2) 共に笑い、集い、誰もがなりうる認知症に備えます。

【伝えたいこと】

ここでいう「予防」とは、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味です。

誰もが認知症になりうることを捉えたうえで、認知症への備えに務めることを目指します。備えとは、生活習慣の他に、人と交流することで日々を楽しく、生きがいをもって暮らし続けることで、社会的孤立を防ぐことが備えになる。

【他市の宣言文例】

- ・ 外出する、運動する、食事に気をつけるなど、認知症になりにくい生活習慣を実践するまち (大阪市)
- ・ よく笑い、よく運動し、食事に気をつけて、認知症になりにくい心と体をつくるよう努めます。(五所川原市)
- ・ 周りのことに常に関心を持ち、あれ、なんか変！？と思ったときは、声をかけたり、だれかに相談したりするよう努めます。(五所川原市)
- ・ 認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせるよう、認知症に関する情報発信及び情報共有ができる仕組みづくりを進めます。(土浦市)

④まちづくり	(案１) 認知症のかたを含む一人一人が自分ごとと捉え、人格と個性を尊重し、互いに支え合い、安心できる未来を見据え、元気で明るい笑顔あふれる住み良いまちづくりをします。
	(案２) 認知症の人のニーズに合わせ、よりよい地域を共につくります。

【伝えたいこと】

一人ひとりの能力やニーズが異なることを理解し、認知症の人や家族だけでなく、生活全般に関わる地域住民・医療・介護・福祉サービス等の関係機関と連携できる仕組みづくりを目指す。そして誰もが安心して暮らせる上田市の実現をめざすために市民皆で地域づくりをしていくことを目指す。そのためには、市民が求めている「交流できる場」づくりを進め、地域との繋がりを作る事が必要と考える。

【他市の宣言文例】

- ・ 認知症の人の思いやその人らしさを尊重し、認知症の人やその家族の視点に立って行動するまち（大阪市）
- ・ 認知症の状態に応じた質の高い医療・介護サービスが速やかに提供されるまち（大阪市）
- ・ 認知症の人がいきいきと暮らし続けることができるまち（大阪市）
- ・ 子どもから大人まで、あらゆる世代の市民が心をつなげて、認知症の人が生きがいを持って、安心して暮らせるまちをつくります。（五所川原市）
- ・ 認知症の人の思いやその人らしさを尊重し、思いやりをもって行動します。（宇治市）